

第六十五回帝國議會
衆議院

輸出生絲販賣統制法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
輸出生絲販賣統制法案(政府提出)
蠶絲業組合法中改正法律案(加藤知正君外五
名提出)

會議

昭和九年三月十九日(月曜日)午前十時四十
五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤 知正君

理事永田 良吉君 理事近藤壽市郎君

理事高橋 守平君

青木 精一君 横川 重次君

川手 甫雄君 山本 慎平君

水島彦一郎君 生田 和平君

助川啓四郎君 戸井 嘉作君

小山邦太郎君 林 平馬君

戸田 由美君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官子爵 織田 信恒君

農林參與官 松村 謙三君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

農林書記官 田淵 敬治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出生絲販賣統制法案(政府提出)

○加藤委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス——生田和平君

○生田委員 極ク簡單ニ横濱ノ問屋業者ノ

コトニ付テ御伺致シタイト思ヒマス、御承
知ノ如ク此問屋業ハ安政六年開港以來妙ナ
歴史ヲ以テ發達シテ來タノデアリマスガ、

此問屋業者ヲ今日置イテ置カナケレバナラ
スト云フコトニ付テハ、私共非常ナ疑問ヲ

有ッテ居ルノデアリマス、生産費ノ低下ト云
フコトガ言ハレテ居ル一方ニ於テ、問屋業

者ノ爲ニ製絲家ガ支拂ッテ居ル金ト云フモ
ノハ容易ナモノデナイ、第一ニ手数料、ソ

レカラ金利ノ差、隨分多大ナル手数料ヲ要
シ、又其間取引上ニ於テ不正ナルコトモ澤

山アル、是ハ大臣御承知ドラウト思フ、斯
ウ云フヤウナモノヲ何時迄モ置イテ置カナ

ケレバナラスト云フコトニ、大ナル疑問ヲ
有ッテ居ルノデアリマスガ、是等ノ大ナル弊

害ヲ御認メニナッテ居ルカドウカ、多少ノ弊
害ハアッテモ、矢張置イテ置クコトガ蠶絲業

ノ爲ニ利益ニナルト御考ヘデアルカト云フ
コトヲ伺ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 問屋業ノ製絲家トノ關係
デ、是マデ多少ノ弊害ガアルト云フヤウナ

コトモ耳ニハ致シテ居リマス、殊ニ問屋ノ

數ガ多ク、資力ノ薄弱ナ問屋ガ澤山競争的

ニ存在スルト云フヤウナ場合ニハ、矢張自
然サウ云フ事ガ懸念サレル事情ニアルノデ

ハナイカト思ヒマス、問屋ヲ今回ノヤウナ
制度ニ依ッテ漸次確實ナモノニ整頓シテ參

リマスレバ、其弊害ハ餘程少クナルノデハナ
イカト思ッテ居リマス、唯根本的ニ問屋ト云

フモノ、存在ガ必要デアルカドウカ、將來永
ク存在シテ居ラナケレバナラヌモノデア

カドウカト云フコトハ、一ツノ研究問題デア
ルト思ヒマス、併ナガラ生絲輸出貿易ノ開

始以來、ズット問屋ト云フモノガ存在シテ、色
色我國ノ生絲ノ輸出業ノ發達ノ上ニ貢獻ハ

シテ今日マデ參ッタト思ハル、ノデアリマ
ス、今他ノ非常ニ有力ナ之ニ代ルベキ方法

ガ現レナイ場合ニハ、問屋ノ存在ヲ直チニ
不必要ナモノデアルト斷定致ス譯ニハ參リ

兼ネルノデアラウト思ヒマス、矢張多數製
絲業者ガ居リマスルシ、其販賣ノ委託ヲ受

ケテ相當量ノ荷口ヲ買方ニ提供シテ、取引
ヲ圓滑敏速ニスルト云フ働キハ、今日ノ問

屋ニ認メラレルノデアリマス、隨テ問屋ノ

資力、信用及其仕事ノ働振リガ極メテ活潑

デアルト云フコトガ差當リ必要ナコトデア

ルト思ヒマス、製絲業ノ爲ニ適正ナ販賣策
ノ樹立ヲ爲シ、且ツ力メテ有利ナル賣込ヲ

爲スト云フヤウナコトニ向ヒ、又製絲業ニ
對スル資金ノ融通ノ働キヲモスルト云フヤ

ウナコトニ於テ、今日ノ問屋ノ職能ト云フ
モノガ認メラレテ居ルヤウナ譯デアリマ

ス、之ニ代ルベキ極メテ有力ナ方法ガ他日
立ツト云フコトニナリマスレバ格別、サウ

デナイ限りハ問屋ト云フモノ、存在ヲ認メ
テ、是等ノ長所ヲ十分ニ發揮サセル、又其

弊害等ノ起ラナイヤウニ問屋ヲ整頓ヲシテ
參ルト云フコトガ必要デアルト考ヘラレル

ノデアリマス

○生田委員 私共ハ矢張問屋ガ蠶絲業ニ非

常ナル貢獻ヲ持ッテ來テ居ルト云フコトハ

認メテ居リマス、併シ現在ノ狀況ニ於キマ
シテハ、問屋ニ代ルベキ有力ナル制度ヲ樹

立シ得ルノデハナイカト思フノデアリマス、
昨年政友會ノ有志案トシテ統制立法ヲ議會

ニ出シタ際ニ、御承知ノ如ク會社ヲ以テ統
制シテ行カウ、斯ウ云フ案デゴザイマシタ、

若シ此會社案ガ實施セラル、場合ニハ、問屋業ト云フモノハ勿論廢止ニナルコトハ御承知ノ通りデアリマス、吾々ノ考デハ現在ノ問屋ハ全部廢止シテモ、取引ノ圓滑ノ上ニ於テ何等差支ナイト云フ見解ヲ有ッテ居ル、政府ニ於カレマシテハ只今ノ御答辯デハ、矢張適切ナル新タナル方策ガ立タヌ以上ハ、先ヅ問屋業ヲ現在ノ儘ニ置カウト云フ考ラシイノデアリマスガ、是ハ結局意見ノ相違ニナルト思ヒマス、ソコデ此本案ガ假ニ通過致シマシテ、免許制度ニナルト云フコトニナリマス、矢張問屋ノ業務ト云フモノハ一層擴充サレ、數ハ減ルデアリマセウ、或ハ二十軒ニナリマスガ、三十軒ニナリマスガ、ソレデ數ハ整理サレルドラウト思ヒマス、隨テ有力ナ問屋ガ殘ル、有力ナ問屋ニ對シテ免許制度ヲ行フト云フコトニナリマス、益々問屋ノ基礎ハ鞏固ニナルデアリマセウ、隨テ其權力モ擴大サレルデアラウト思フノデアリマス、又營業權モ認メラレルノデアリマスカラ、今日ノ個人ノ業務ニ對スル態度ト、又將來免許ヲ受ケタル所謂免許權ヲ有スル者ニ對スル態度トハ、各、差別ガ付イテ來ルカト思フ、將來ニ於キマシテ有力ナル制度ガ出來テ、此問屋業ナルモノヲ整理セントスル場合ニ、本案

ガ非常ニ邪魔ニナリハセヌカト考ヘルノデアリマスガ、大臣ハ如何ナル御見解ヲ有ッテ居ラレマスカ

○後藤國務大臣 問屋ニ關シテノ見解ハ只今申シタ通りデアリマス、若シ他日販賣統制ニ關スル有力ナ機關ガ設置サレテ、問屋ト云フモノ、必要ガ感ゼラレナクナルヤウナ場合ニハ、問屋ノ免許制度ヲ設ケテ置クコトハ、問屋ノ地歩ヲ確實ニシテ、其場合ノ處置ガ困難ニナルノデハナイカト云フヤウナ御話ノヤウデアリマスガ、問屋ガ多數ニ簇生シ、濫立シテ、今後益々ソレ等ノ傾向ガ續イテ參ルト云フ場合ニ比較シマスレバ、如何ナル方策カラ執ツテ、或ハ問屋ニ代ルベキ有力ナ制度ガ茲ニ樹立サレタ爲ニ、問屋ノ處置ガ考ヘラレルト云フ場合ガ參リマスニシテモ、今日此制度ヲ執ツテ置クト云フコトハ、其爲ニ今日ノ儘放任シテ置クヨリモ不便ヲ生ズルト云フ虞ハ無イカノヤウニ考ヘテ居リマス、併シ將來ノ有力ナル機關方策ト云フモノニ付テ、未ダ實行の成案ノ立タナイ前ニ問屋ノ運命ヲ論ズルコトハ、非常ニ難シイコトデアリマシテ、吾々トシテハ成ベクサウ云フ事柄ヲ避ケテ參リタイヤウナ心持モ致シマス、唯問屋ヲ免許制度ニシマス、問屋ノ地歩ヲ確實ニシテ行クコ

トニナリマス同時ニ、問屋ノ信用、資力、機能ヲ確實ニスルコトニナリマシテ、問屋ノ亂立ヲ整理スル上ニ於テモ寧ロ結構デアルト云フ見解ヲ有ッテ居リマス

○生田委員 問屋ノ問題ニ付キマシテハ難シイ問題デアリマシテ、是ハ意見ノ相違トシテ此位ニ止メテ置キマス

次ハ取引所ノ問題デアリマス、此取引所ハ御承知ノ通り公ノ機關トシテ公定相場ヲ立テル爲ニ出來テ居ルノデアリマス、併シ此蠶絲業ノ輸出生絲ノ販賣統制ト云フモノソレ自體ハ、結局價格ノ統制ニアルト思ヒマス、價格ノ統制ノナイ統制ハ何モナラスト思フ、何故價格ノ統制ガ必要カト申シマスト、過日加藤委員長ガ亞米利加カラ歸ラレタ時ニ、所謂新知識ヲ以テ盛ニ絲價ノ安定ガ絕對必要デアルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、絲價ノ安定ノ絕對必要ダト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマス、亞米利加ノ機業家ハ生絲ノ高イノハ憂ヘナイ、寧ロ絲價ガ非常ニ變動スル爲ニ損失ヲ被ルカラ、ソレデ吾々ハ絲價ノ安定シテ居ル人絹ノ方ヘ向ッテ行クンダ、轉業スルンダ、斯ウ云フコトヲ屢々言ッテ居ルノデアリマス、實際其通りデアリマス、ソコデ絲價ノ安定ト云フコトカラ申シマス、取引所

ナルモノハ丁度之ニ矛盾スル制度デアル、取引所ハ御承知ノ如ク銘々ニ於ケル自分ノ考デ、買占メル場合モアルデセウ、或ハ非常ニ暴落ヲ豫期シテ賣崩ス場合モアルデセウ、此買占、賣崩シト云フコトガ絲價ノ變動ヲ誘發スル、絲價ノ安定ガ絕對ニ必要デアルトナレバ、斯ウ云フヤウナ制度ハ有害無益デハナイカ、斯ウ考ヘマスガ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○後藤國務大臣 生絲ノ取引所ニ付テハ御話ノヤウナ議論ガ前々カラ存在シテ居リマス、今日デモサウ云フ意見ヲ有ッテ居ラレル人多イノデアリマス、吾々トシテモ絶エズ考究ハ致シテ居リマスガ、併シ今日ノヤウナ取引所ノ實情ニ於テハ、今俄ニ取引所ト云フモノヲ廢止シテシマッタ方ガ宜イト云フ結論ニハ現在ハ一寸到達シテ居ラナイノデアリマス、御承知ノヤウニ色々ノ「ヘッヂング」ノ作用モゴザイマスシ、又絲價ノ前途ニ對スル趨勢ヲ或ル程度ニ是ガ示スヤウナ場合モアリマスシ、茲ニ全ク取引方法ノ大改革ガ行ハレルト云フ時機ニハ取引所ノ事モ同時ニ考ヘナケレバナラスコトニ相成ルドラウトハ思ヒマスケレドモ、只今ノ所取引所ノ或ハ弊害ト認メラレル點モアリマセウガ、又長所ト認メラレル點モアリ

マセウ、今遽ニ御話ノヤウナ意見ニ付テ吾
吾ガ賛成デアルト云フコトハ申シ兼ねルノ
デアリマス

○生田委員 過日調査會ニ幹事案トシテ御
出シニナリマシタ案、是ハ矢張價格ノ制高
制低ノ制度デアッタト云フコトヲ大臣ハ御
言明ニナッテ居リマスガ、若シ其私案ガ調査
會ヲ通ツタラバ、大臣ハ固ヨリ御採用ニナ
ル御考デアリマスガ、其點ヲ御同致シマス

○後藤國務大臣 アノ幹事私案ガ調査會ヲ
アノ儘通りマスガ、ドウ色々ナ變化ガアッ
デ通りマスガ、ソレハ豫想ノ付カナイ所デ
アリマスガ、若シ通りマスレバ、アノ案ヲ
基礎ニシテ具體案ヲ立テ、見タイト云フ心
持デアリマス

○生田委員 サウシテ見ルト矢張大臣ハ價
格ノ最高ヲ抑ヘヨウ、最低ヲ抑ヘルト云フ
御趣意デアルト思フ、又當然サウアラネバ
ナラス、恰度米ノ價格ノ制度ト同ジコトデ
アリマシテ、其爲ニ米取引所ノ取引ガ激減
致シテ居ル、ソレド所々ノ取引所カラ陳情
ガ參ッテ居リマス、政府ガ最高最低ノ價格ヲ
制限スル場合ニハ、取引所ナルモノハ從ッ
テ成立タナイ性質ノモノデアアル、又國家ノ
方策ニ矛盾スル制度ニナッテシマフ、殊ニ高
橋大藏大臣ノ如キ者ハ屢々政府ノ資金ヲ投

機ニハ決シテ向ケサセスト云フコトヲ言ハ
レテ居リマス、取引所ガ價格ノ安定ニ對シ
テ障害ニナルコトハ殆ド問題ガナイト思
フ、唯大臣ガ此際言明出來スト言ハレルノ
ハ諒ト致シマスケレドモ、恐ラクハ今日ノ
取引所ナルモノハ有害無益ノモノトナルト
考ヘテ居リマスカラ重ネテモウ一度

○後藤國務大臣 制高制低ノ價格ヲ定メマ
シテモ、是ハ中央金庫ガ色々ナ方法ニ依ッ
テ、其間ニ成ベク絲價ヲ安定シヨウト云フ
ノデアリマシテ、ソレ以上ニ絲價ガ出ル場
合ニハ、又一ツノ方法ヲ行ヒ、下ガル場合ニ
ハ共同保管其他ノコトヲ行ハウト云フノデ
アリマシテ、絲價自體ハ矢張需給ノ關係、
殊ニ海外ノ市場ノ關係等ニ影響サレテ參リ
マスノデ、制高制低ガキッカリト其範圍内ニ
絲價ヲ追込ムト云フ働キヲ得ルヤ否ヤト
云フコトハ、中々期待スルコトハ困難デア
リマス、併シ出來ル限リサウ云フコトニ近
カラシムルヤウニハ出來ルダラウト考ヘテ
居リマス、然ラザル場合ニモ取引所ノ機能
ガ全然ナクナルト云フ譯ニハ參ラナイノデ
ハナйкаト私ハ考ヘテ居リマス、隨テ取引
所ハ矢張制高制低ノ價格ノ範圍内デノ絲價
ノ動キニ依ッテ働ケマスシ、又ソレヲ越エテ
偶ニハ動クト云フコトモ、米國ナドノ市場

ノ關係、又内地ノ色々ナ生産ノ關係カラ、
需給ノ關係ニ依ッテハ偶ニハサウ云フコト
モ起ルダラウト思ヒマス、成ベクソレヲ起
サセナイヤウニスルノガ目的デアリマセウ
シ、又制高制低ノ範圍内ニ於テハ矢張絲價
ノ動クコトハ全ク自由ニ有リ得ル譯デアリ
マスカラ、矢張取引所ト云フモノハ其機能
ヲ保存スルコトニ相成ルデアラウト思ヒマ
ス

○生田委員 サウスルト第十條ノ勅令ノ内
容、一定ノ價格以下ニ下ツタ場合ニハ取引
ヲ禁止スルト云フノデスガ、例ヘバ五百圓
ニ下ルコトハナラヌト言ッテモ、取引ガ三百
圓ニナツタ場合、期日ガ來テ現物ノ受渡ガ出
來スト云フコトニナルト、矢張取引所ハ成
立シナイト思ヒマス、ソコニ矛盾ガアリハ
シナイカト思ヒマス

○後藤國務大臣 第十條ノ規定ハ販賣統制
調査會ノ諮問ノ審議ノ際カラ取引所ニ直接
ニハ效力ヲ及ボスモノデハナイトシテ扱ッ
テ參ッタノデアリマス、取引所ノ取引ニ直チ
ニ此命令ハ影響致シマセヌ、併ナガラ御話
ノヤウニ實物ノ取引ノ上ニ於テ、或ル一定
ノ價格以下ヲ禁ジタ場合ガ非常ノ際ニ起ッ
タトスレバ、自然受渡ノ方ニ影響シテ來ル
ト云フコトハ有リ得ルト思ヒマス

○生田委員 モウ一ツダケ——サウスルト
矢張取引所ト云フモノハ非常ニ害ヲスル、
政府ノ政策ト矛盾スル行爲ガ行ハレハシナ
イカ、政府ハ賣止メヲスル、假ニ五百圓以
下、或ハ四百圓、三百圓ト云フコトニナル
コトヲ豫想シタ場合ニ此命令ヲ政府ガ發ス
ル、其場合取引所ハ政府ノ此政策ト反對ナ
矛盾シタ、或ハ齟齬シタヤウナ行爲ヲ執ル
ヤウナコトニナッテ、結局是ハ有害無益ニ
ナルノデハナйкаト云フ結論ニ達スルト思
ヒマスガ、ソコハドウ御考ヘニナリマスガ

○後藤國務大臣 サウ言ッテ非常ノ事態ニ
處シテ第十條ノ規定ヲ働カセタ場合ニ於キマ
シテハ、一方取引所ノ監督行政ノ側カラモ、
取引所ノ側モ同一歩調ヲ揃ヘテ、此監督ノ
作用ヲ働カセテ行クヤウニシタイト思フノ
デアリマス、今御話ノヤウナ矛盾撞著ヲ少
ナカラシムルト云フコトハ、各省トモ打合
セテ、各々其有ッテ居ル機能ヲ發揮シテ、其
統制ヲ圖ッテ行クト云フコトニ致シタイト
思ヒマス

○生田委員 第十條ノ精神ト云フモノハ、
他ノ統制ノ法規ノ條文ニ於キマシテモ、已
ムヲ得ズ此第十條ダケニ限定サレテ居ル、
第十條ハ非常時ト云フ意味ヲ有ッテ居ルガ、
之ヲ擴大スレバ全面的ニナッテ來ルノデハ

ナイカト思ヒマス、是ハ矢張第十條が擴テ行クト價格ノ最高ハドノ位、最低ハドノ位ト云フ精神モ織込マレテ行ク、サウスルト取引所ト云フモノハ前申シマス通り政府ノ政策ト相反スル行爲ヲ爲ス結果ニナルノデハナイカ、モウ時間ガアリマセスカラ、ソレダケ一ツ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 取引所ニ對スル監督行政ノ立場カラ十條ニ依ル一種ノ統制ノ運用ヲ此法律ニ基イテ發スル時ニ、取引所ノ方デモ、監督ノ方デモ、同時ニ步調ヲ揃ヘテ行クト云フ場合ガアルデアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ制高制低ト云フコトヲ嚴格ニ守ルト云フコトガ——是ハ言葉ハオカシウゴザイマスケレドモ、十條ニハサウ云フコトハナイノデアリマスガ、何カ或ル一定ノ價格ヨリハ賣ッテハイカヌト云フコトニシテ、取引所ノ方ニ取引所監督ノ方カラサウ云フ取引價格ヲ決メルト云フコトハナイニシテモ、取引所ノ停止ヲ命ズルトカ云フコトガアリマスレバ、恰度アナタノ御話ノヤウナコトガアリ得ルト思ヒマス、併シ非常時ニ國家ガ蠶絲業全體ノ爲ニ講ズル處置デアリマスカラ、已ムヲ得スコトデアラウト思ヒマス

○生田委員 ソレハ非常時ノ事ヲ考ヘルカ

ラデス、平素ニ擴ゲテ考ヘタ場合ニ矢張取引所ト云フモノハ從來ノ働キヨリ狭クナルノデハナイカ

○後藤國務大臣 ソレハ矢張金庫法案ノヤウナ内容ノモノガ出テ、實施サレル場合ニト云フ假定シテノ意見ヲ御聽ニナッテ居ラレルヤウデスガ、サウ云フ場合ニハ自然取引所ノ働キノ範圍ガ狭マルト云フコトハアリマセウガ、先程來御話ニナリマシタヤウニ取引所ノ機能ガ停止スルトハ相成ラヌト考ヘテ居リマス

○加藤委員長 ソレデハ青木君

○青木委員 農林大臣ニ一寸承ッテ置キタイコトハ、制高制低ノ價格ノ問題ニ對シテ、統制調査委員會ニ於テ輸出業者ガ反對スルト云フ裏面ニハ、製絲家ニ對シテ問屋ガ貸金ガ相當アル、其貸金ノ清算ノ付ク迄ハ、當分現在ノ自由ノ相場ノ動キニ委セテ置イテ、貸金ノ整理デモシテシマッタナラバ、マアドウニデモヤッタ宜シイト云フ營業本位、自己本位ノ打算ノ頭ガ相當動イテ居ル、商人デスカラシテ打算ノ頭ノ動クコトハ當然デアリマスケレドモ、サウ云フ吾カラ見レバ不純ナル頭デ以テ此制高制低價格ヲ喜バナイト云フ風ニ吾々ハ強ク觀察スルノデスガ、農林大臣ハ彼等ノ此制高

制低ニ反對スル強イ動機ハソコニアッタノデアルト云フコトヲ觀破ナサラナカタノデアアルカドウデアリマスカ

○後藤國務大臣 調査會ノ審議ノ經過ニ於キマシテ未ダ結論ニ達シテ居リマセデスガ、輸出關係ノ人達ガ飽マデ反對ヲスルカドウカトモ、今決シテ斷定スル譯ニハ參リマセスケレドモ、今御話ノヤウナ動機ガアルカドウカ、其點未ダ私シカト分ッテ居リマセスノデス

○青木委員 吾々カラ見ル所、又調査スル所ニ依リマスルト云フト、其點ガ非常ニ此輸出ノ制高制低ガ彼等ニ取ッテハ邪魔ニナルノデアリマス、當分制高制低ナド、云フ束縛セラレタル所ノ制度ヲ認メナイデ、自由ニヤッテ居ッテ、多年來ノ製絲家トノ取引ニ於ケル所ノ彼等ノ貸金ヲ回收シヨウト云フ所ニ、非常ナ強イ動機ガ働イテ此制高制低價格ニ對シテ反對ヲシテ居ルト云フコトハ間違ノナイ觀察デアルト私ハ思フノデアリマス、會議ノ表向ノ理由ニハ彼等ハ使ヒマセスガ、彼等ニ於テ色々利害關係ノ同ジ所ノ問屋、輸出業者ガ、サウ云フコトヲ方針トシテ、サウシテ其指導精神ノ下ニ之ニ反對ヲシテ來ルト云フコトハ、間違ノナイ

所デアルト思ヒマスルカラシテ、彼等輸出業者ノ意見ヲ聽ケバ、何時マデ經ッテモ價格ノ安定ニ關スル所ノ制度ト云フモノハ、彼等ノ意見ヲ徵シテハ到底結論ヲ得ルコトハ出來ナイノデアリマスカラシテ、私ハ能ク此統制調査會ノ「メンバー」ヲ承知致シマセスケレドモ、ドウモ當業者トシテハ輸出業者ノ意見ガ調査會ニハ有力ニ働イテ居ルヤウニ見受ケラレルノデスガ、更ニ調査ヲ續ケラル、ト云フニ於テハ、其調査會ニ製絲家方面ノ意見モ強ク反映スルヤウニ委員ノ増加等モ圖ラレテ、サウシテ本當ニ公正ナル議論ヲ徵サレタナラバ、又本問題ニ對スル所ノ打開ノ途モアルデアラウト思ヒマスルガ、調査會ノ委員ヲ増加シテ、サウシテ廣イ意味ニ於ケル所ノ、一方ニ偏セザル蠶絲業界ノ輿論ヲ御聽ニナル御考ハ御有リニナリマスカ如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 調査會ニ於テハ製絲家及養蠶家等ノ意見ヲモ十分ニ反映スルヤウニ致シタイト云フ積リデ居リマスガ、今調査會ノ人數ノ増減ノ事ニ付テモ御話ガゴザイマシタガ、是ハ能ク詳シク調査致シテ見マセスト、御答致シ兼ねマスケレドモ、趣旨ニ於テハ御話ノ通り、各方面ノ意嚮ヲ十分ニ反映致シテ參リタイト云フ考デ居リマス

○青木委員 願クハモウ少シ調査會ノ組織

方ニ付テモ按配ヲセラレテ、サウシテ眞ニ今日ノ蠶絲業ニ對スル所ノ事態ヲ認識シテ居ル所ノ人物ヲ入レテ、サウシテ斯ウ云フ重大ナル所ノ問題ノ解決ノ途ヲ圖ル所ノ參考ニシテ戴キタイ、徒ニ業界ノ長老ミタイナ人バカリヲ集メルト云フト、眞ニ此業界ノ事態ヲ理解シナイ者ノ議論ガ反映シテ來ル、理解ヲシテ居ルトシテモ、ドウナッテモ宜イト云フヤウナ頭デハ又仕樣ガナイノデアッテ、此問題ニナッテ來ルト云フト、輸出業者ハ自己ノ利害關係カラ眞劍ニナリマスルシ、サウシテ其輸出業者ノ中ニハ、茲ニ露骨ニハ言ヘマセケレドモ、隨分大キナ威力ヲ持ッテ居ル所ノ業界ノ有力者ガ入ッテ居ル、業界ト云フヨリモ、輸出市場ニ於ケル所ノ有力者ガ入ッテ居ルヤウデスカラシテ、ドウシテモ其方ノ意見ニ左右サレルト云フトコトニナルカラ、隨テ本案ノ如キ全ク重心ヲ失ッタル所ノ骨抜キノ案ガ答申セラレルト云フコトニナルノデアラウト思ヒマス、ソレカラ希望トシテ更ニ申上ゲテ置キタイ事ハ、要スルニ調査會ト云ウテモ、ソレハ諮問機關ナンデスカラシテ、其答申如何ニ拘ラズ、立法トシテ政府ガ議會ニ統制案ヲ提出サレル場合ニ於テハ、其答申ダケニ拘

東セラレナイデ、農林大臣ノ信ズル所ヲ以テ立案セラレテ御提出ニナルノガ當然デア

ラウト思フ、假令此輸出生絲販賣統制機關ノ事ガ調査會ニ於テハ未熟ノ儘ニナッテ居ルト云ウテモ、是ガ中心ノ問題デアルト堅ク御信念セラレテ居ルナラバ、此問題ヲ外サナイデ、本案ノ中心問題トシテ立案シテ立法府ニ御出シニナルト云フコトモ當然ナンデアル、ソレヲ片方マダ調査未了デアルカラト云ッテ、ソレダケ取除ケテ御出シニナルカラ、此様ナル所ノ、洵ニ片輪ナル、而モ目的ニ副ハナイ所ノ案ガ出來上ッテシマッタト思フノデアルカラシテ、今後ニ於キマシテハ左様ナル利害關係者ノ意見許リニ左右セラレナイヤウニ、必要ナル點ハ十分押切ッテモ斷行セラレルヤウニ、私ハ希望致シテ置クノデアリマス

ソコデ私ハ第二ニ伺ッテ置キタイノハ、本

案ハドウ見テモ是ハ輸出統制法トシテ扱フ譯ニ行カナイノデアリマス、輸出統制ノ準備工作トシテノ價值ハ、吾々モ之ヲ認メルノデスケレドモ、之ヲ以テ輸出統制法ナリトシテ立法スルト云フ譯ニハ、ドウモ行キ兼ねルノデスケレドモ、場合ニ依ッたらバ政府ニ於キマシテ、此名稱ヲ他ニ本案ニ適當スルヤウナ名稱ヲ表示スル所マデ、御讓歩

ニナレルカドウカト云フコトヲ一點御伺シテ置キマス

ソレカラ十條ノ運用如何ニ依ッテ非常時ニ於ケル所ノ統制ノ實ヲ舉ゲルコトヲ期待出來ルト云フノデアリマセウガ、段々ノ御說明ニ依ルト、十條ノ非常時ハ、ヨク／＼ノコトデナケレバ傳家ノ寶刀ハ抜カナイト云フ建前デ設ケラレテ居ル、ソレハ斯様ナル所ノ條文ハサウデナケレバナラストモ思ハレルノデスガ、サウシテ見ルト平時ニ於ケル所ノ統制ノ働キヲスル基礎ト云フモノハ——價格統制ノ働キヲスル基礎ト云フモノハ、此法條ノ何レノ點ニ於テモ見出スコト

容ガヤハリ廣イ意味ニ於テ統制ト云フ言葉ノ範圍内ニ入ルモノデアルト云フコトヲ吾吾ハ信ジテ居リマスル、併ナガラ之ヲ現スノニ又別ノ文字ヲ以テスルコトガ出來ナイノダト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、好イ名稱ガアリマシタナラバ改メマシテモ——唯廣イ意味ノ統制ノ一端デアルト云フ見解ハ別ニ變ヘナクテモ、其名稱ノ好イモノガアリマスレバ、少シモ拘泥スル所デハナイノデアリマス、左様申上ゲテ宜シイト思ヒマス、尙ホ第二點ハ政府委員カラ御說明申上ゲサセマス

○井野政府委員 十條ノ統制命令ニ類似ノ

立法ハ、蠶絲業關係ニ於キマシテハ先年御協賛ヲ得テ公布ニナリマシタ製絲業法ノ第三條ニ同ジ規定ガアリマス、唯處分ト云フ言葉ハゴザイマセスガ、是ハ今度ノ場合ニハ處分ヲ遣リ得ル方ガ便利デアリマスカラ、處分ト云フ字ヲ加ヘタノデアリマス、同ジ規定ハ製絲業法ノ第三條ニアリマス、今度御協賛ヲ願ッテ居リマスル原蠶種ノ管理法ノ十四條ニ是同ジ規定ガアリマス、是等ハ蠶絲業ノ非常時ニ於テ當業者ガ自治的統制ヲ行フ場合ニ於テ是ガ、補強策トシテ國家ガ其統制策ヲ援助シテ行クト云フ趣旨ノ規定デアリマシテ、此販賣統制法ノ十條

モ同ジ精神カラ出來テ居ル規定ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○加藤委員長 大臣ハ十一時カラ他ノ方ニ行カレルコトニナツテ居リマシタサウデスガ、既ニ十一時モ過ギマシタカラ、大臣ニ對スル御質問ガ若シゴザイマシタラ、後ニ討論ニ入ル前ニ特ニ質問ヲ願フコトニ致シマシテ、一旦大臣ニ關スル質問ヲ打切ッテハ如何デスカ

○生田委員 私ハ先程カラ大分質問シタイ事ガアツタノデアリマスガ、時間ガナイト云フノデ一應打切ッテ置キマシタ、ソレデ若シ次ノ機會ニ、時間ガナケレバ已ムヲ得マセヌカラ質問ヲ打切リマスガ、時間ガゴザイマシタナラバモウ少シ質問ノ時間ヲ假シテ戴キタイと思ヒマス

○加藤委員長 能ク分リマシタ、是ハ大變重要ナ案デアリマスカラ、十分御審議願ッタ方ガ宜シイノデアリマス、ソコデ討論ニ入ルニ先チマシテ、尙ホ其際特ニ大臣ノ御出席ヲ戴イテ、御質問シテ戴クコトニシテ、一旦ハ是デ打切ルト云フコトニシテ別ニ御差支アリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○加藤委員長 ソレデハ其様ニ御願致シマス、デハ是カラ政府委員ニ對シテ御質問ガ

ゴザイマスナラバ、引續キ質問セラレンコトヲ希望致シマス

○高橋委員 一點承リタイと思フノデスガ、問屋業ヲ免許スル條項ノ中ニ、融通資本ハ或ル程度ノ金額ノ内容ガ定ッテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、所ガ此問屋業ヲ營ムモノガ株式會社デモアル限り、即チ具體的ニ會社ノ資本金ヲ表示シ得ラレルモノデアリマスレバ、認定ハ容易イノデアリマスガ、個人ノ資産ニ付テ金額ヲ定メ、其金額ヲ認定スルト云フ方法ハドウ云フ方法デアリマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○井野政府委員 是ハ高橋委員ノ御説ノ如ク株式會社デアリマスト非常ニ容易イノデアリマスガ、株式會社デナイモノ、資格ヲ認メルト致シマス、其認定ハ相當困難ト思ヒマス、併シ所得稅デアリマス、或ハ營業收益稅デアリマス、其他色々ノ點カラ大體資産狀態ヲ調べマス、此店ハドノ位ノ資産ガアルト云フ見當ハ、略々今迄デモ付クヤウデアリマス、是ハ絕對條件ニハ致サナイ積リデアリマスガ、一ツノ免許標準トシテ、其前後ノ程度ノ資産ヲ持ッテ居ルモノト云フコトヲ免許標準ニシテ行キタイト考ヘマス

○横川委員 實ハ私ハ本委員會ニ缺席ヲ致シマシテ、今迄ノ審議ノ狀況ヲマダ承知致シテ居リマセヌノデ、或ハ重複ノ點ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ御許シテ願ヒマス、政府ニ於カレマシテハ本法案ニ於キマシテ、問屋ノ免許制度ト云フモノヲ定メマシテ、問屋事業ノ統制ヲ圖リ、業態ノ確實ナランコトヲ期シテ居ラレルヤウニ思ヒマスガ、又併セテ濫立ヲ防グト云フ御趣意デアルヤウニモ思ヒマス、現在問屋ノ狀況ト致シマシテハ、過去ノ生絲ノ恐慌ニ照シマシテノ債權債務ノ關係等ガ、製絲家方面ト十分連ッテ居リマスノデ、製絲家ハ少シ儲ケニナレバ、必ズ問屋ニ之ヲ支辨セネバナラズ、又問屋ハ其先ノ金融業者ニ其負擔ヲ分タネバナラヌト云フコトデアリマシテ、洵ニ此重イ鎖ノ因果關係ハ、永劫ニ傳ハルヤウナ傾向ニアルノデアリマシテ、此間ノ羈ヲ改善遮斷シナイ限りニ於テハ、到底輸出取引ノ圓滑、健全ヲ期シ得ルコトハ出來ナイと思フノデアリマス、尙ホ之ヲ以テ見マシテ、若シ製絲業者ガ他日更生ヲ得ルヤウナ機會ガアリマシテモ、問屋乃至ハ金融業者カラス様ナ桎梏ヲ以テ迫ラレルノデアリマスカラ、到底浮ブ瀬ガナイコトデアリマシテ、結局ニ於テ製絲業者ノ健全ナル立直リト云フコトハ、望ミ得ベクモナイト思フ

ノデアリマスガ、斯ウ云フ狀態デ永劫ニ製絲業者ガ浮ブ瀬ガナイト云フコトニナリマスレバ、其販賣ト云フコトニ付テモ、結局製絲業者アツテノ販賣デアリ、中間機關デアルノデアリマスカラ、本法案ガ成立致シマス、現在マデノ桎梏ノ關係、因果關係ヲ其儘承認スルコトニナルノデアリマスルガ故ニ、尙更製絲業者ノ回復ヲ阻害スルヤウナ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマスルガ、此點ニ付テハ如何ニ御考ヘデアリマセウカ

○井野政府委員 製絲金融ノ問題ニ付キマシテハ、今御話ノ如ク色々複雑シタ事情ガゴザイマシテ、其改善ニ付テハ相當困難ナ問題ガ介在シテ居ルノデアリマスガ、併シ今日ノ實情カラ致シマス、段々問屋ノ製絲金融ニ對スル職能ト云フモノハ從來ヨリハ少クナツテ來テ居リマシテ、原資金ニ於キマシテ、荷爲替資金ニ於キマシテモ、從來製絲家ニ對シテ致シテ居リマシタヨリハ、餘程關係ガ薄クナツテ來テ居リマス、唯問屋トシマシテハ、集中的ノ機能デアリマス、或ハ生絲検査所ニ對スル検査ヲ受ケマス機能デゴザイマス、其他ノ製絲家カラ參リマス多量ノ荷物ヲ賣捌ク爲メ、一ツノ機關トシテノ機能ヲヤッテ居ルヤウナ狀

態デゴザイマス、金融ハ唯金融業者ノ方ニ移ッテ參ッテ居リマスカラ、隨テ今後之ヲ免許制度ニ致シマシテモ、其爲ニ從來カラ介在シテ居ル所ノ舊債權關係ニ付テ、却テ不利ニナルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、併シ從來カラ殘ッテ居リマス債權關係ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ非常ニムジカシイ問題デゴザイマシテ、之ニ對シテ何等カノ處置ヲ致ストシマスレバ、別途ノ方策ヲ講ジナケレバナラスト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○横川委員 現在ノ景氣ノ稍、回復ニ向ヒツ、アリマスル經濟界ノ狀況カラ見マシテ、新シキ間屋ナドガ生レマスコトハ、過去ノ經濟「パニック」ノ因果關係ト別ニ、新タナ純然タル間屋、即チ只今仰セラレタ如キ中間ノ取引機關ガ生レテ來ルノデアリマシテ、寧ロ此際制限ヲ設ケマセヌ方ガ、左様ナ自由ナ新シキ、何等過去ノ因果關係ノナイモノガ生レ易イノデアリマスカラシテ、經濟機構ノ自然的推移カラ申シマスレバ、自由放任ヲ致シマス方ガ、過去ノ腐レマシタ所ノ債權債務ノ關係等ハ、自然解消ニ導ク結果ニナリマスカラ、却テ取引上ノ點カラ見マスレバ、改善シ易イヤウナ狀態ニアルト思フノデアリマス、隨テ現在新ニ間屋業者

等モ簇生スルヤウデアリマスルガ、是等ハ即チ其ノ間ノ消息ヲ物語ルモノデアリマシテ、放任シテ寧ロ自然的ニ推移スベキ經濟上ノ機構ノ變改ト云フモノヲ阻止スルヤウナ結果ニナルコトハ明デアラウト思ヒマス、此點ハ如何デセウ

○井野政府委員 非常ニ偏狹ナル有力ナル間屋ガ新ニ出來マス云フコトハ、或ハ御説ノヤウナコトガアリ得ルカモ知レマセヌガ、今日間屋ガ段々ト殖エテ參リマスル現狀ヲ見テ居リマスルト、寧ロ資力ノ薄弱ナル間屋ノ數ガ殖エテ參ルノデアリマシテ、ソレ等ノ簇生ト云フコトハ、今後ノ製絲金融ノ改善ト云フコトニハ、寧ロ害ガアッテコソ益ガナイト考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、矢張免許制度ニ致シマシテ、從來ノ間屋ヲシテ益、其基礎ヲ健實ナラシメ、又製絲業者ニ對シテハ、製絲業法其他種々ノ施設ニ依リマシテ、其基礎ヲ固カラシメタイ、サウシテ救済關係ニ付キマシテハ、其時ノ事情ニ依リマシテ、出來ルダケ是ガ改善ヲ促進シテ行クト云フ方策ガ、最モ私ハ健全ナル政策ト考ヘテ居リマスルカラ、矢張免許制度ヲ布キマスコトノ方ガ、今後ノ製絲金融ノ改善ニモ資スル所多イト考ヘマス

○横川委員 勿論免許制度其モノニ付キマ

シテハ、必シモ私ハ反對デアリマセヌガ、只今御話ノヤウニ、若シ古イ關係ノ間屋ニ絲ヲ出シマスルナラバ、儲ガソコニアレバ、必ズ其儲ハ其間屋ガ取ッテシマフノデアリマス、所ガ新シイ關係ノ間屋ニ出シマスル際ニ、儲ガアリマスレバ、ソレハ製絲家ノ手取ニナリ得ルノデアリマスカラ、製絲家其モノ、資力ノ回復ト云フ方面ニ付テ考ヘマスルナラバ、當然新シイ無關係ノ間屋ト取引ヲ致シマスル方ガ、儲ガアリ次第、是ガ手取ニナル關係上、製絲家ノ回復ヲヨリ早クセシメルト云フコトニナルダラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ申上ゲタノデアリマスカラ、其點ニ付キマシテハ……

○井野政府委員 一時的ノ現象トシマシテ、サウ云フコトハ考ヘラレマスカ、一ツノ制度トシマシテ、一時新シイ所ヘ出シテ手取ガ多クナッテモ、其新シイモノ自體ノ基礎ガ薄弱デアリマスレバ、直グ又ソコニ大ナル弊害ガ生ジテ來ルノデアリマス、矢張斯ウ云フ我國ノ蠶絲業ノ如ク、恒久性ヲ有ッテ居リマスル業態ニ於キマシテハ、恒久性ノ健實ナル業者ノ發達ト云フコトガ、最モ望マシイコト、考ヘテ居リマスル、或ハ一時的ニ御説ノ如キコトモアリ得ルカト考ヘ

マスガ、矢張免許制度ニ致シマシテ、基礎ノ鞏固ナルモノ、發生ヲ來シタイト考ヘテ居リマス

○横川委員 吾々ト致シマシテハ、昨年只今局長ガ仰セラレマシタヤウナ意味デ、永久ニ基礎ノ確實ナル、而モソレ自體ガ利益ノ主體ニナラナイ所ノ、純然タル中間機關、即チ製絲家自體ヲ其組織内容トスル所ノ中間取引ノ機關ト云フモノヲ設ケマシテ、ソレニ依ッテ輸出生絲ノ販賣ノ統制ヲヤッテ行キタイ、又取引ニ關スル一ツノ改善ノ基礎ヲ築キタイト云フ考ヲ以チマシテ、輸出生絲ノ販賣會社案ト云フモノヲ提出ジタノデアリマス、只今局長ノ説明セラレタ趣旨ノ如クニ、若シ當局ガ御考ヘニナッテ居ルト致シマスルナラバ、吾々ノ計畫致シマシタ所ノ販賣會社案ト云フモノト、全ク其趣旨ニ合致スルモノデアアルカノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、當然御當局ト致シマシテモ、今度ノ改正ノミニ依リマシテハ、輸出生絲ノ販賣統制ト云フコトノ改善ヲ十分ニ期待セラレテ居ルトハ思ヒマセヌ、寧ロ準備的ナ御行爲ト存ゼラレマスコト、將來トモニ是ガ十分ナル統制ニ付キマシテハ、新ニ又強イ決心ヲ以テ其立案遂行ノ衝ニ當ランコトヲ希望致シマシテ質問ヲ打切りマス

○加藤委員長 外ニ御質問 ハアリマセヌ
カ——ソレデハ是デ質問ハ打切ルコトニ致
シマス

○高橋委員 質問打切ハソレデ宜イノデア
リマスガ、討論ハドウシマスカ

○加藤委員長 ソレヲ今御諮リスル所デ
ス——質問ハ是デ打切リマシタガ、尙ホ各
派ニ於テ黨議ニ依ッテ之ヲ決シナケレバナ
ラスト思ヒマスカラ、何レ討論ハ其上デ致
シタイト思ヒマス、次會ハ公報ヲ以テ御知
ラセスルコトニ致シマス、本日ハ是デ散會
致シマス

午前十二時四十二分散會